

三重県議会会派 新政みえ

県民とともに創る 新しい三重のカタチ

新政みえは「新しい政治を三重の地から」をめざして、2001年に結成された三重県議会最大会派です。また、議会改革先進県を誇る三重県議会の改革をリードしてきた政策集団でもあります。

「新政みえ」は、地域に生きる人々の様々な営みを守り、地域に活力と安心安全を築き、誰もが心豊かに暮らすことができる郷土三重を、県民の皆さんとともに創っていきます。

実現します! 新政みえビジョン2015

「新しい三重のカタチづくり」のため、新政みえの考え方の基本や、具体的な施策をまとめた「新政みえビジョン2015」を作成しました。



「新政みえ」が 考えるビジョンの6つの柱

- 1 防災・減災対策の強化
- 2 住みやすい環境を次世代へ
- 3 地域経済の活性化
- 4 農林水産業の強化
- 5 県民の健康と生命を守る
- 6 子どもたちの豊かな未来のために

詳細は、ホームページか各議員あるいは新政みえ控室にお問い合わせ下さい。



新政みえ議員控室
〒514-0006 三重県津市広明町13番地 三重県議会内
Tel.059-224-2863 Fax.059-224-2632
www.shinsei-com/shinseimie

f www.facebook.com/shinseimie



新しい発想で、新しい挑戦!



平成27年度会派活動記録

● 調査活動



食品残さを原料としたメタン発酵によるバ



「自治体の観光政策」について、観光庁観光

(H27年11月12日 京都府京丹後市)

戦略課調査室次長の講義

(H27年7月17日 参議院会館)

● 知事への政策要望 (H27年12月8日)

重点要望項目

- ・着実な地方創生の取り組み
- ・サミット開催について
- ・生活困窮者および子どもの貧困対策の推進

● 知事への申し入れ (H28年3月22日)



- ・先行して一人親家庭等医療費補助金制度に窓口無料化の導入を!
- ・子ども医療費補助金制度に窓口無料化の導入を!

● 国への意見書提出

昨年、これまで日本の安全保障を根底から覆す安全保障関連法案が強行採決されました。新政みえは、国への意見書を率先して議会に提案し、都道府県議会としては全国で初の意見書採択となりました。

【採択された意見書】

- ・安全保障法制の慎重な審議を求める意見書

(H27年6月16日可決)

- ・安全保障関連法案の強行採決に抗議し先の国会で

成立した安全保障関連法の廃止又は再検討を求める意見書

(H27年12月21日可決)

結成15周年に寄せて

早いもので「新政みえ」が結成されてから15年の歳月が経ちました。その間、お支えをいただき、様々なご指導を賜りました県民の皆さんに、心から感謝申し上げます。

北川知事、野呂知事、現在の鈴木知事と3代の知事の下、常に県議会の議論をリードし、県政をけん引するとともに、議会改革を推し進め、今日の先進議会としての高い評価を得る中心的役割を果たしてまいりました。

これからも初心忘ることなく、生活者、納税者、働く者の立場に立ち、現場主義、県民目線に頑固にこだわり続け、県政の伸展、県民の生活向上に懸命の努力を重ねてまいる覚悟です。引き続きのご支援ご指導をお願いいたします。

新政みえ代表 三谷 哲央

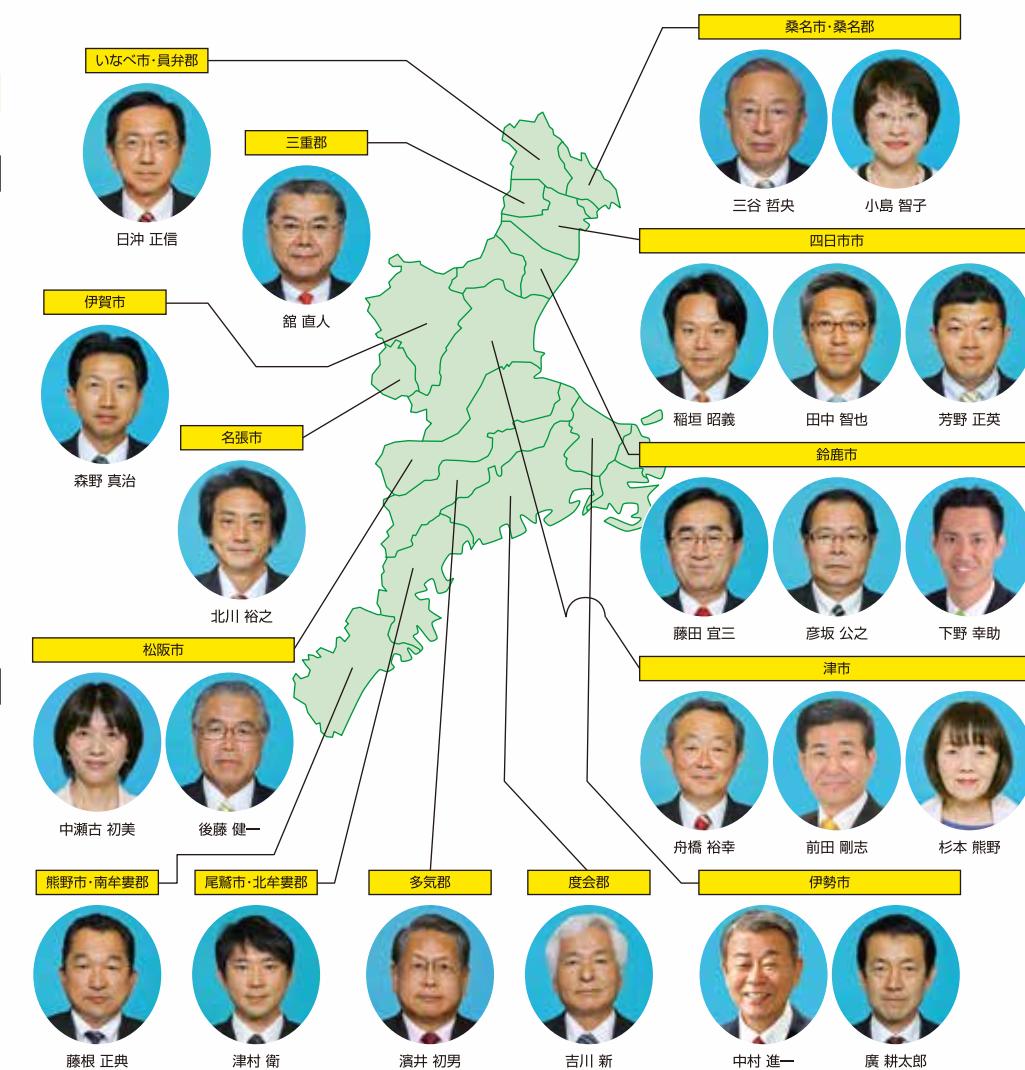
三重県議会議長 中村 進一

今、三重県は、5月開催の伊勢志摩サミット、平成30年のインターハイ、平成33年の三重国体と、その実力が試される大イベントが続きます。一方で、人口減少に歯止めがかかる現状があり、この状況は特に県南部に集中しています。まさに、三重県がこれから課題にどのように取組むのか、それをしっかりとチェックし、県民目線で提案していくことが三重県議会の責任であり役割です。

このたび、会派「新政みえ」が結成15周年記念事業として、県内各地で県政の課題解決に向けて共に考え意見交換する場を企画されました。

県民の皆様の声をしっかりと受け止め、県政に反映させていただきますことを、心よりご期待申しあげます。

所属議員紹介



新政みえ15周年記念事業報告

みんなで考えたい「地方の創生」

新政みえ県政座談会in熊野

10月31日(土) 場所:熊野市文化交流センター

地方創生がさけばれる中、東紀州とくに熊野地域の活性化について、県議会・新政みえの取り組み方向を示し、「新政みえビジョン」も活用しながら、今後の地域振興のあり方について意見交換を行いました。

記念講演

辻 保彦 氏 パーク七里御浜代表取締役

*「パーク七里御浜モール」再建の取り組みと、地域活性化への熱い想いを語っていただきました。

県政報告

地方創生の動きについて

田中 智也(戦略企画常任委員長)

南部地域の活性化について

藤根 正典(総務地域連携常任委員長)



参加者の声

- やる気と元気をもらいました
- 地場産業に関係するとても興味深いお話をしました
- 地域活性化の取り組みに、地域の希望を感じました



投票率の向上には…

- ・ネット投票の実施
- ・大学に投票所を設ける

政治への関心を高めるには…

- ・学校で政治を学ぶ時間が必要
- ・政治家と直接関わる機会が欲しい

参加者からは…

- ・同世代のさまざまな意見に触れて勉強になった
- ・選挙権年齢も引き下がったので、学生同士で政治について話し合う機会は必要だ



尾鷲・紀北わかものサミットin熊野古道センター

日時:10月31日(土) 場所:三重県熊野古道センター

活動報告&パネルディスカッション

テーマ:子どもたちに伝えつなげていきたい地域の宝物
「自分たちでできることから、自分たちのまちを元気にしていきたい!」そんな熱い想いを持ち活動している元気な「若者たち」が集まり、活動発表と「まちづくり」について語っていました。

[パネリスト]

大形弥生／おわせヒノキ雑貨えびすや
村瀬晃健／おわせ盆踊り大会実行委員会
森田 渉／小山ハウス 寺小屋
山口剛史／第3次ベビーブームの会



参加者の声

- 今後のまちの将来を考え直す良いきっかけとなりました
- 紀北地域で活躍されている「わかもの」の生の声が聞けて大変良かった

新政みえへの要望

- ・わかものサミット、1回限りではなく続けてほしい。
- ・若者が政治を身近に感じられるようなイベントを各地で企画してください。
- ・弱い立場にある県民の福祉・医療の充実に尽力を!
- ・林業対策、木材の利用促進、地産地消の推進を!
- ・命を大切にする政治、自由に発言できる社会、環境・自然を守る政治を!

地域づくり講演会&意見交換

日時:11月28日(土)
場所:志摩市商工会議所

「伊勢志摩サミット」を契機に元気で魅力的な三重県づくりについてみんなで考えようと、企画しました。



本当に地方はダメになったのか? —地方創生がめざすもの—

講師 西村 訓弘 氏(三重大学副学長)

講師は、南伊勢町出身で、現場での実践に基づいた地方創生に取り組み、「これからの方はおもしろい!」と訴えられました。「人口減少社会の中、20世紀型の都市への人口集中で、地域格差が拡大し続けるこの時代、グローカル・オンラインを目標すべきである。」と、明るい展望、ポストサミットを考えられる講演でした。

参加者の声

- とにかくすごく良い講演でした
- 地方創生への気づかなかった視点がよく分かりました
- 地方でも、地方だから出来ることが多くあると学びました

若者と政治をつなぐ

若者が語る

"今、政治がおもしろい"

18歳以上の若者約70人が参加し、ワールドカフェ方式によるグループトークを行いました。

テーマに分かれて議論。それぞれ課題を出し、解決策を考えた。
新政みえ所属の県議や国会議員が議論に耳を傾けた。

カフェトークin四日市

日時:2016年2月13日(土)
場所:四日市農協会館8Fホール

